

共済と保険

一九八六年七月号 目次

卷頭言・避けて通れない道徳危険の克服 (八)

保険大国の保険思想 水島一也
"人と人との間" 芥潤一

将来に亘って確実な現物保障の制度を 妹尾丸夫
（一〇）

「放射能とウオツカと原子力保険と」 本間照光

交差点

△第二八回共済研究会報告

日本の医療荒廃を防ぐもの

五木田和次郎 (一九)

△リポート
いまフイリピンの空の下で 岡村 博

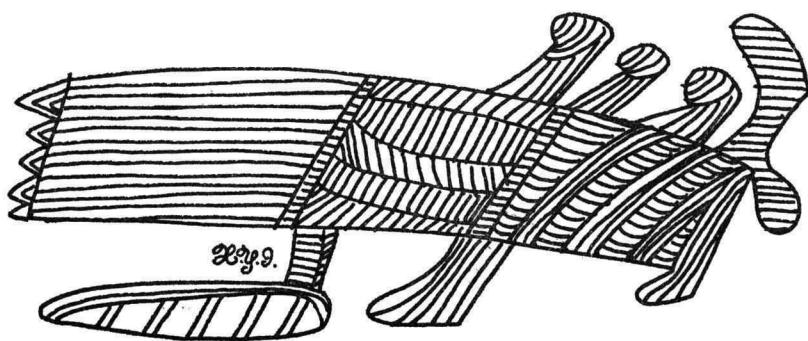
(三三)
(三九)

△時言月評

▽再び医療保険をめぐって

▽損害填補VS積立と、定額保険VS変額保険

▽生保資産含みの還元



△論 調△

生きていればこそ／だれのためのオンブズマンか／
一貫したプリンシップを

（五二）

第三回共済職員研修会終る.....（五五）

本会の第29回通常総会.....（五七）

本・Money ジャパン別冊・生命保険大研究.....（六一）

グラフ・損保は積立保険時代.....（六）

ことば・共済との競合、提携.....（七）

農協共済・五月末長期共済の新契約実績／「農協共済プラン」オーブン／全国会長会議で運動方針を決議／全共連ニューヨーク事務所開き

漁協共済・漁業者年金TV-CMを全国放映／推進全国大会で漁協等を表彰

：（六四）

全国生協連・全国生協連第28回総会
保 险 界・生保全社の60年度決算概要／エクイタブル生命に内認可／

生保四社“私募債斡旋業”進出／中退協が生保に資産三〇〇億委託／日生“人間ドック紹介サービス”実施／日産で初の損・生保提携カード開発／保険審議会、第一回損保部会開く

編集後記.....（七三）